

てぶくろを買いに

脚色・演出 / 柴崎喜彦 美術 / 入澤祥子
音楽 / 庄子智一 照明 / 阿部千賀子
音響効果 / 吉川安志

新美南吉の童話「てぶくろを買いに」は、今でもこどもから、おとなまで多くの人に愛されている作品です。プークでは1998年に初演し、好評を得ました。

——きつねの坊やは、はじめて見た雪と夢中で遊ぶうち、小さな手がこごえてしまいます。かあさんぎつねは、ふもとの町で温かいてぶくろを買ってあげたいと思いました。けれどそこには、きつねをねらう人間が住んでいます……。



あたたかさを届けたい 演出 柴崎喜彦

心の交流が稀薄と感じられる現代だからこそ、古き良き人の情愛の大切さ、家族のつながり、親子のきずな、生命の交流や共存……、この作品に流れるメッセージを伝えたいと感じています。

雪は積もると何もかもを真っ白に覆ってくれます。それこそ大きな情愛のように。子ギツネが手袋をはめて出会うであろう、あたたかな『雪』に思いをはせ、忘れてはいけないものを届けたいと思います。

人形音楽バラエティー

くるみ割り人形

チャイコフスキー原曲による

構成・演出プラン / 川尻泰司・長谷詔夫 演出 / 大橋友子 編曲 / 宮崎尚志 美術 / 若林由美子 照明 / 阿部千賀子

チャイコフスキーのバレエ音楽の中でもっとも洗練され、獨創性に富んだ傑作『くるみ割り人形』の旋律にのせて、舞台いっぱいにくりひろげる人形バラエティーショー。

主人公の女の子クララが、クリスマスにプレゼントされたくるみ割り人形に案内されて、〈スペインの踊り〉〈アラビアの踊り〉〈ロシアの踊り〉や、お菓子でできた魔法の国の〈こんべい糖の精の踊り〉など民族的色彩豊かに、手遣い、抱え遣い、棒遣い、糸あやつりなどのさまざまなスタイルの人形たちが歌い踊ります。

